

信濃川大河津資料館友の会だより

講座『友の会活動を考える会』当初の日程を変更して開催！

政府の事業仕分けの影響を受けて、来年度の大河津資料館の運営方法が大幅に変わる予定です。当然、友の会のあり方、運営の仕方も大きく変えねばなりません。その検討のために例年1月に開催している友の会の役員会を今年12月11日と早めて開催しようとしています。

12月11日は講座「友の会活動を考える会」の当初予定の開催日ですが、役員会の議論を踏まえて十分な準備を経て会員の皆様と講座「友の会活動を考える会」を開催する必要があるために、開催日を1月8日(土)に延期しました。友の会にとって大きな変革を迫られているこの機会に、実り豊かな明日の友の会に向かう議論を重ねたいと思います。できるだけ沢山の会員の皆様にお集まりいただけるようお願いします。

日時：2011年1月8日(土)

13:30~15:30

会場：大河津資料館 2階多目的ホール

イベント報告

大河津分水俳句を楽しむ会

9月4日(土)に行われ、大河津分水を詠んだ句がたくさん出されました。最後に田村紅子先生より講評していただき、大河津分水に芸術の秋が訪れました！

渋海川バスツアー

9月22日(水)に行われ、渋海川を巡ってきました！昭和53年の破堤地点や成出向斜軸露頭現場などを見学しました。塚野山瀬替え現場では当時の河道を観察することができました。

大河津分水-クリーン作戦/サケまつり/友の会講演会

10月16日(土)に行われ、始めに日頃の大河津分水への感謝と、サケ汁をおいしくいただくためにクリーン作戦を行いました。クリーン作戦の後は大河津分水を上ったサケをサケ汁にし、美味しくいただきました。午後からの講演会では「信濃川の魚たち-サケが帰る母なる川」をテーマに網田健次郎さんより信濃川に遡上するサケや多様な魚類、水生生物についてお話いただきました。

川の物語発表会

10月30日(土)に行われ、友の会会員や資料館スタッフから発表していただきました。資料館に収蔵されている「お宝」の資料が紹介され、参加者の皆さんは興味深そうに資料を見ていました。





大河津との縁

友の会会員 野原 永吉

初めて大河津分水に立ち寄ることになったのが、遡ること約 30 年ほど前の昭和 54 年 4 月。現資料館前の公園内に建物があったところのこと。その周辺において花見酒で一夜を楽しんだことを覚えています。

そのころは大河津分水が歴史ある施設であることなどほとんど意識していなかったように思いますが、今から思い出せば、宮本武之輔氏が寝泊まりをした建物が残っていた（？）ような気がしますし、隣には旧・旧資料館（？）があったように記憶していますが、はっきりしない記憶です。間違いがあればどなたかご指摘ください。

以来、仕事や友の会、家族での散策などを通じて大河津周辺とは長い付き合いとなりました。資料館のリニューアルに携われたことや宮本信さん（宮本武之輔氏の次男）とお付き合いをさせていただいたことが印象深く残っています。

自宅から少し遠いのですが、これからも「大河津分水」という顔を見に通いたいと考えています。



大河津分水いま昔

友の会会員 相田 信

小さい頃、親に連れられて初めて堤防でおいらん道中の見学をし、今日ほどではないものの人波のすごさと小段にごさを敷き酒盛りで酔っぱらった花見客が多かったことが強く印象に残っています。（残念ながらおいらんの印象は残っていない）その後、小学校最終学年での写生大会で訪れるまで分水路へ足を向けることもなく大変近くて遠い場所でもありました。当時、絵はろくに描かず何人かの仲間と半日ほど周辺で夢中になって遊んでおり、当然のことながら帰ってから担任の先生の手厳しいお叱りが待っていました。特に旧洗堰を渡り第二公園へ向かう時の堰からの轟音と大量の放流水に畏怖の念を抱いたことが今も鮮明に思い起こされます。半世紀が過ぎた今日の様変わりをした一円の現況は想像だにできない事でもあります。

先頃新可動堰のゲート取り付け現場を視察させていただいた折、何一つとってもあまりのスケールの大きさに同行された皆さんも一様に驚きの声を上げておられました。特に完成後の管理橋は自由に往来が出来ること云う事でジョギングや散策の人々で賑わう事が予想されるゾーンでもあります。

本川橋、洗堰、大河津分水公園、信濃川大河津資料館、来春完成予定の分水さくら公園、更に三年後の可動堰の完成で立派な一大ゾーンが出来上がりますが、今後、地元に住む者の一人として関わりを持ち、何かしらお役に立てればと考えています。

次のご指名は本間政幸さんと菊地剛さんです。

今号の可動堰

工場で作られたゲートが工事現場へと運ばれ、ゲートの据付工事が行われています。ゲートが設置された後、電気設備の設置を行い、新可動堰の操作ができるようになります。ゲートは長さ 40m と大きなものなので 15m 程度に分解して現場へ運ばれました。



右岸堰軸から撮影
(平成 22 年 11 月 27 日撮影)



右岸堰軸から近景を撮影
(平成 22 年 11 月 27 日撮影)